

MBD手法と国産CAEを活用した持続可能なデジタル変革

～自動車産業が進める製造業の未来に向けて～

参加費

無料



自動車産業界では、MBD(デジタルデータ、シミュレーション解析)による意思の疎通が求められ始めています。また、企業が培ったknow-how継承、産業人口減少の課題への対応のひとつとしてMBDが考えられます。これらの状況・課題に対して、生産現場等でのデジタルツールの活用を皆様と一緒に考えられればと思います。CAEの動向、応用例をご講演していただきますので、どうぞ奮ってご参加ください。

日時：令和8年1月23日（金）13:00～16:00

会場：宮城県産業技術総合センター 大会議室（仙台市泉区明通二丁目2番地）
定員：20名

概要

第一部：基調講演

13:00～14:00 「モノづくりのコミュニケーションツールとしてのデジタル化の状況について」
株式会社アイシン 製品開発センター 技術開発本部
解析技術部 統括室 グループ長 林 寿是 様

第二部：国産のCAEを活用した応用

- 「樹脂射出成型、プレス成形の活用事例」
株式会社先端力学シミュレーション研究所
営業・事業企画部 担当部長 東田 想太 様
- 「低価格ツールを活用したCAE推進」
アルプスアルパイン株式会社
情報システム部 技術インフラ企画課
主任技師 菅原 大輔 様

お申込み方法（申込期限：令和8年1月22日（木））

下記詳細ページ、もしくは右記のQRコードよりお申込みください。

URL (<https://www.mit.pref.miyagi.jp/?p=27911>)



本事業は、経済産業省 令和7年度CASE対応に向けた自動車部品サプライヤー事業転換支援事業（地域支援拠点運営事業）と連携して実施するセミナーです。

主催：公益財団法人みやぎ産業振興機構、宮城県産業技術総合センター

共催：みやぎ自動車産業振興協議会